

当院にて精神疾患でご加療中の方へ

当院では精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究（多施設共同研究）に参加しております。本研究では、精神科における診療ガイドラインの教育効果によって、より適切な精神科診療が広く行われることを目的としています。この研究は、国内多施設で行われる共同研究で、日本神経精神薬理学会、日本うつ病学会を中心に結成されたプロジェクトチームが行っています。東京大学医学部附属病院は研究参加施設として参加いたします。

【対象となる方】

2015年4月1日以降に東京大学医学部附属病院の精神科病棟および外来において精神疾患の治療を受けた方

【研究の意義】

精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づく診療ガイドラインも作成されていますが、それが実地臨床に反映され、役立っているかどうかについてはまだ十分にわかっていません。そこで本研究においては、最新の診療ガイドラインの講習を行い、実際の治療に与える影響についての検討を行います。

【研究の目的】

本研究の目的は、適切な精神科医療の普及です。このために、精神科医師を対象に診療ガイドラインの講習会を全国的に実施して、実際に行われた治療内容についての調査を行います。

【研究の方法】

講習を受けた医師にアンケート調査を実施するとともに、医師が勤務する医療機関での治療状況に関する調査を行います。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている症状や治療内容などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしい場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで御連絡ください。2017年3月31日までにご連絡いただければ調査対象となることはございません。2017年4月以降の調査に関しましては、年度末の3月31日までにご連絡いただければ、その年度以降の調査について対象外とさせていただきます。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、学会等で個人が特定出来ない形式で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または下記担当者へお尋ねください。

2018年8月

【研究グループ名】

精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究プロジェクトチーム

研究統括医師：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部 橋本亮太
東京大学医学部附属病院は分担研究施設に登録しています。

本研究に必要な資金は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構等により拠出しております。

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院精神神経科 助教 市橋香代

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線33605） FAX：03-5800-6894

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 精神神経科 診療科責任者名 笠井清登